

第一回校内実習

中学部では1年ごとに作業班を編成し、「木工」、「ハーブ加工」、「農園芸」のすべての班を経験できるようにしています。

第一回校内実習は、6月30日（木）～7月6日（水）の5日間行われました。木工班では、「ペン立て」、ハーブ加工班では、「香り袋とハーブ石鹸」、農園芸班では、「スナップえんどうの栽培と苗の定植」をしました。

1週間の実習を通して、1日いっぱい作業に取り組む大変さ、挨拶や返事、報告、時間を守ることなどの大切さなどを再認識できた校内実習になりました。

農園芸班



種から育てた貝細工を畑に定植しました。実習中に合計216株の苗の定植をしました。花が咲いたら収穫して乾燥させ、リース作りに使用します。



スナップえんどうの栽培に取り組んでから2年目になりました。傷まないように一つ一つ丁寧に収穫しました。甘くておいしいスナップえんどうになりました。

木工班



ボール盤を使って穴開けをしました。ゆっくりレバーを下ろすこと、木材をしっかり押さえることを意識しています。



サンダを使って研磨をしました。他にも、トリマを使った面取りや塗装、やすり掛けをしました。正確さを意識して時間いっぱい頑張っています。

ハーブ加工班



しののめ夏祭りの販売に向けて「ラベンダーの香り袋」と「ハーブ石鹸」を作りました。また、ぽんぼこ山のラベンダー畑で収穫の手伝いもしました。暑い中でしたが、みんなで集中して取り組むことができました。